

新編

日本反對語辭典

小林豐編



SUNNY BOOKS

日本反對語辭典

7500個相反詞・提高語文能力必備之工具書

小林豐編

武陵出版社印行

日本反對語辭典

編者	小林豐		
發行人	林輝	慶	
出版者	武陵出版社		
社址	台北市新生南路3段19巷19號		
電話	7037329・7040730		
郵政劃撥	0105063-5		
香港出版者	武陵出版社		
印刷者	建興印刷廠		
裝訂者	忠信裝訂廠		
登記證	局版臺業字第1128號		
初版	中華民國七十六年十月		

版權所有・翻印必究

定價 160 元

• 缺頁或裝訂錯誤可隨時更換 •

序

相反詞的正確了解及使用，不但有助於學習，甚至在日常生活中也非常需要。本辭典適合一般社會人士使用。我們的編輯方針如下：

1. 相反詞的索引部分以漢字為主便於讀者使用。
2. 本辭典內不僅收集相反詞，同時也附帶一些對照詞及相關詞。因為這三種詞類原本就不能很明確的區別，而且嚴格說來，對照詞與相關詞並無特定的相反詞。由於對學習沒有實際上的幫助，故不將其分別列出。
3. 常用的外來語也儘量的收集在內。
4. 說明儘可能簡單明瞭，太通俗或過於冷僻之詞都予以省略。
5. 每個相反詞下儘量附加例句，以便讀者確實明白。

本辭典所收集之相反詞高達七千五百個，內容非常完整。讀者若能有效利用，必能提高語文能力；不論對詞義的了解或運用都會有顯著的進步，這也是編者最樂於見到的。

本辭典的使用方法

- ☆除了外來語及適合用假名來表現的詞以外，一律以漢字表示，依五十音按次排列於每頁的左側。在每個詞的右邊⇒記號之後便是相反詞(對照詞或相關詞)。
- ☆本辭典的排列方式是照現代假名的使用方式，索引部分的漢字照「常用漢字音訓表」在括弧內註明讀法，常用漢字表以外的漢字以・表示，音訓以外的字用×表示。
- ☆一詞有兩種以上的意義者以①②…來區分之。
〔例…可(か)①よい②賛成⇒①不可(ふか)②否(ひ)。〕
- ☆外來語後面附註原國名，若是英文則省略。
- ☆㊦表示例語或例句。

◆ さ く い ん ◆

あ…………… 3	た……………195	ま……………282
い…………… 14	ち……………207	み……………285
う…………… 23	つ……………215	む……………290
え…………… 30	て……………217	め……………293
お…………… 34	と……………222	も……………295
か…………… 46	な……………230	や……………297
き…………… 71	に……………234	ゆ……………299
く…………… 89	ぬ……………238	よ……………303
け…………… 94	ね……………238	
こ……………104	の……………240	ら……………307
		り……………309
さ……………122	は……………242	る……………314
し……………130	ひ……………251	れ……………315
す……………173	ふ……………260	ろ……………317
せ……………177	へ……………272	
そ……………189	ほ……………275	わ……………318

あ

亜(あ) アジア。㊦東亜。欧亜。

愛(あい) かわいがる。㊦愛情。

哀(あい) かなしみ。㊦哀話。

相変わらず(あいかわらず) いつもと
同じ。㊦相変わらず気が弱い。

愛護(あいご) かわいがりまもる。

愛好(あいこう) 愛し好む。

愛する(あいする) かわいがる。

愛想(あいそ) あいきょうがある。

㊦あの人には愛想がよい。

愛他主義(あいたしゅぎ) 他人を愛す
ることを心がける主義。利他主義。

相手(あいて) ㊦相手の考え。

アイデアリズム(idealism) 理想主義。
観念論。

哀悼(あいとう) 悲しんで心を痛める。

㊦心から哀悼の意を表す。

生憎(あいにく) つごうが悪く。

合服(あいふく) 春や秋など、夏と冬
の間に着る服。

相部屋(あいべや) 共同の部屋。「と。

相惚れ(あいぼれ) 互いに愛し合うこ

曖昧(あいまい) はっきりしないこと。

㊦君の答えはあいまいだ。

愛らしい(あいらしい) 愛したい。

合う(あう) いっしょになる。

会う(あう) であう。

遭う(あう) でくわせる。㊦ひどい目
に遭ったものだ。

アウト(out) ①外。②野球で死。

⇨欧(おう) ヨーロッパ。㊦欧州。欧文。

⇨憎(そう) にくむ。㊦憎悪。

⇨飲(かん) よろこび。楽(らく)

⇨いつになく いつもと違って。㊦いつ
になく元気だ。

⇨虐待(ぎゃくたい) むごく扱う。

⇨嫌悪(けんお) きらいにくむ。

⇨憎む(にくむ) にくく思う。

⇨不愛想(ふあいそ) あいきょうがな
い。㊦あの人には不愛想だ。

⇨利己主義(りこしゅぎ) 自分の利益ば
かりを考える主義。

⇨自分(じぶん) ㊦自分の考え。

⇨リアリズム(realism) 現実主義。現実
論。

⇨祝賀(しゅくが) 慶祝(けいしゅく)
祝い、よろこぶ。

⇨折良く(おりよく) つごうよく。

⇨冬服(ふゆふく) 冬に着る服。夏服
(なつふく) 夏に着る服。

⇨個室(こしつ) 一人だけの部屋。

⇨片思い(かたおもい) 一方的な思い。

⇨明確(めいかく) 明瞭(めいりょう)

確實(かくじつ) はっきり。

⇨憎らしい(にくらしい) 憎みたい。

⇨離れる(はなれる) わかれる。

⇨別れる(わかれる) 去っていく。

⇨免れる(まぬかれる) うまく逃がれ
る。㊦運よく災難を免れた。

⇨①イン(in) 中。②セーフ(safe)

- アウト・オブ・デート(out-of-date) ⇨ アップ・ツー・デート(up-to-date)
時代遅れの。 最新流行の。非常に現代的。
- アウトサイダー(outsider) 団体や協 ⇨ インサイダー(insider) 団体や協定に
定に参加していない人。 参加している人。
- アウトサイド(outside) 外部。 ⇨ インサイド(inside) 内部。
- 仰ぐ(あおぐ) ①上を向く。②たつと ⇨ ①俯く(うつむく) 下を向く。②蔑む
ぶ。③私はあなたを師と仰ぐ。 (さげすむ) けいべつする。
- 青信号(あおしんごう) 安全な信号。 ⇨ 赤信号(あかしんごう) 危険な信号。
- 青田(あおた) 作物で青々とした田。 ⇨ 刈田(かりた) 稲を刈ったあとの田。
- 青二才(あおにさい) 若い、未熟な人。 ⇨ 老いぼれ(おいぼれ) 年寄ってぼけた
人。老練家(ろうれんか) 物事によ
く熟達した人。
- ④君のような青二才はだめだ。
- 青葉(あおば) 青々した葉。 ⇨ 枯れ葉(かれは) 枯れた葉。
- 仰向き(あおむき) 上向き。 ⇨ 俯せ(うつぶせ) 下向きに伏すこと。
- 仰向く(あおむく) 上を向く。 ⇨ 俯く(うつむく) 下を向く。
- 赤字(あかじ) 収入より支出が多い。 ⇨ 黒字(くろじ) 支出より収入が多い。
- 赤信号(あかしんごう) 危険な信号。 ⇨ 青信号(あおしんごう) 安全な信号。
- 明かす(あかす) 明らかにする。打ち ⇨ 秘める(ひめる) かくす。⑤胸に秘め
明ける。⑥秘密を明かす。 る。
- 暁(あかつき) 夜の明けがた。⑦暁に ⇨ 夕方(ゆうがた) 黄昏(たそがれ) 日
起きて駅へ急ぐ。 の暮れがた。
- 赤土(あかつち) 赤茶色の土。 ⇨ 黒土(くろつち) 黒色のよく肥えた土。
- 垢抜け(あかぬけ) スマートなこと。 ⇨ 野暮(やば) どろくさい。⑧野暮なま
ねはおよしなさい。
- ⑨祖母はあか抜けした美人だった。
- 赤松(あかまつ) 幹の赤い松。 ⇨ 黒松(くろまつ) 幹の黒い松。
- 赤身(あかみ) 魚などの肉の赤いこと。 ⇨ 白身(しろみ) 魚などの肉の白いこ
と。脂身(あぶらみ)
- ⑩カツオは赤身の魚である。 ⇨ 蔑む(さげすむ) けいべつする。
- 染める(あがめる) たつとぶ。 ⇨ 暗に(あんに) それとなく。⑪暗に非
難する。
- 明らさまに(あからさまに) はっきり ⇨ 暗い(くらい) ①光が少ない。②よく
と。⑫明らさまに非難する。
- 上がる(あがる) 上に向かう。 ⇨ 下がる(さがる) 下に向かう。
- 明るい(あかるい) ①光が多い。②よ

- く知っている。㊦地理に明るい。
 明るみ(あかるみ) 明るいところ。
 亜寒帯(あかんたい) 寒帯と温帯との
 中間のところ。
 秋(あき) 四季の一つ。
 飽き性(あきしょう) 飽きやすい性質。
 飽きる(あきる) いやになる。㊦コロ
 ッケに飽きた。㊦トランプに飽きた。
 悪(あく) 悪い。㊦悪事。
 開く(あく) ひらく。㊦戸が開く。
 空く(あく) からになる。㊦空き家。
 悪意(あくい) よこしまな心。㊦悪意
 でやったことではない。
 悪感情(あくかんじょう) 悪い感じ。
 ㊦悪感情を抱く。
 悪行(あくぎょう) 悪い行い。
 悪妻(あくさい) 悪い妻。
 悪事(あくじ) 悪い行い。悪行。
 悪質(あくしつ) 質が悪いこと。
 悪習(あくしゅう) 悪いならわし。
 悪臭(あくしゅう) 悪いにおい。
 悪書(あくしょ) 悪い本。
 悪女(あくじょ) ①心の悪い女。②み
 にくい女。㊦悪女の深なさけ。
 悪条件(あくじょうけん) 悪い条件。
 悪食(あくしょく) 味の悪い食物。
 悪政(あくせい) 悪い政治。
 悪声(あくせい) 悪い声。
 齟齬(あくせく) こせこせ。
 悪相(あくそう) 悪い人相。
 芥(あくた) 無価値なもの。
 悪玉(あくだま) 悪い人。悪人。
 わからない。㊦数字に暗い。
 ⇨暗がり(くらがり) 暗いところ。
 ⇨亜熱帯(あねたい) 熱帯と温帯との
 中間のところ。㊦亜熱帯地方。
 ⇨春(はる) 四季の一つ。
 ⇨凝り性(こりしょう) 熱中する性質。
 ⇨①飢える(うえる) 食物などをほしが
 る。②凝る(こる) 熱中する。
 ⇨善(ぜん) 善い。良(りょう)
 ⇨閉まる(しまる) とじる。
 ⇨詰まる(つまる) 塞がる(ふさがる)
 ⇨善意(ぜんい) 好意(こうい) 美しい
 善い心。㊦善意の人たちばかりだ。
 ⇨好感(こうかん) 良い感じ。㊦好感を
 持つ。
 ⇨善行(ぜんこう) 善い行い。
 ⇨良妻(りょうさい) 良い妻。
 ⇨善事(ぜんじ) 善い行い。善行。
 ⇨良質(りょうしつ) 質が良いこと。
 ⇨良習(りょうしゅう) 良いならわし。
 ⇨芳香(ほうこう) 良いにおい。
 ⇨良書(りょうしょ) 良い本。
 ⇨①善女(ぜんによ) 心の善い女。
 ②美女(びじょ) 美しい女。
 ⇨好条件(こうじょうけん) 良い条件。
 ⇨美食(びしょく) 味の良い食物。
 ⇨善政(ぜんせい) 善い政治。
 ⇨美声(びせい) 美しい声。
 ⇨悠々(ゆうゆう) ゆったり。
 ⇨吉相(きっそう) 良い人相。
 ⇨宝(たから) 貴重なもの。
 ⇨善玉(ぜんだま) 善い人。善人。

⇒閉じる(とじる) しめる。

- 明ける(あける) ㊦夜が明ける。
 上げる(あげる) ㊦手を上げる。
 揚げる(あげる) ㊦花火を揚げる。
 朝(あさ) ㊦朝日。朝ごはん。
 浅い(あさい) ㊦浅い川。
 朝起き(あさおき) 朝早く起きる。
 朝駆け(あさがけ) 朝早く、不意に相手を襲うこと。
 朝風(あさかぜ) ㊦さわやかな朝風。
 朝方(あさがた) 朝。
 朝霧(あさぎり) 朝にかかる霧。
 朝餉(あさげ) 朝ごはん。
 朝潮(あさしお) 朝方さす潮。
 朝霜(あさしも) 朝方おく霜。
 朝立ち(あさだち) 朝早く出発する。
 明後日(あさって) 明日のあくる日。
 朝露(あさつゆ) 朝方おく露。
 浅手(あさで) かるい傷。
 字(あざな) 本名以外の名。
 朝凧(あさなぎ) 朝の海が波も立たず静かなこと。
 朝寝(あさね) 朝遅くまで寝ている。
 朝日(あさひ) 朝の太陽。
 朝ぼらけ(あさぼらけ) 夜明けごろ。
 浅み(あさみ) 浅い所。
 浅緑(あさみどり) 薄い緑。
 朝飯(あさめし) 朝の食事。
 朝焼け(あさやけ) 日の出によって東の空が赤く焼けること。
 足・脚(あし) ①くるぶしから先。
 ②机のあし。③腰から下。
 足掛け(あしかけ) 最初と最後の年月
- ⇨暮れる(くれる) ㊦日が暮れる。
 ⇨下げる(さげる) 下ろす(おろす)
 ⇨降ろす(おろす) ㊦荷物を降ろす。
 ⇨夕(ゆう) 晩(ばん) ㊦晩ごはん。
 ⇨深い(ふかい) ㊦深い池。
 ⇨朝寝(あさね) 朝遅くまで寝ている。
 ⇨夜討ち(ようち) 夜遅く、不意に相手を襲うこと。
 ⇨夕風(ゆうかぜ) 夜風(よかぜ)
 ⇨晩方(ばんがた) 夕方。
 ⇨夕霧(ゆうぎり) 夜霧(よぎり)
 ⇨夕餉(ゆうげ) 夕ごはん。昼餉(ひるげ)
 ⇨夕潮(ゆうしお) 夕方さす潮。
 ⇨夕霜(ゆうしも) 夕方おく霜。
 ⇨夜立ち(よだち) 昼立ち(ひるだち)
 ⇨^x昨日(おととい) 昨日の前の日。
 ⇨夜露(よつゆ) ㊦夜露にぬれる。
 ⇨深手(ふかで) 痛手(いたで) 深い傷。
 ⇨本名(ほんみょう) 正式の名。
 ⇨夕凧(ゆうなぎ) 夕方の海が波も立たず静かなこと。
 ⇨朝起き(あさおき) 早起き(はやおき)
 ⇨夕日(ゆうひ) 夕方の太陽。
 ⇨夕まぐれ(ゆうまぐれ) 夕方。
 ⇨深み(ふかみ) 深い所。㊦池の深み。
 ⇨深緑(ふかみどり) 濃い緑。
 ⇨夕飯(ゆうめし) 晩飯(ばんめし)
 ⇨夕焼け(ゆうやけ) 日が沈むころ西の空が赤く焼けること。
 ⇨①手(て) 手首から先。②柄。③腕(うで) 肩から先。
 ⇨満(まん) 丸(まる) 年月がめぐって

- 日を計算に入れる数え方。㊦入学してから足掛け三年になる。
- 足枷(あしかせ) 足にはめて自由を奪う道具。じゃまもの。
- 足癖(あしぐせ) 足のくせ。
- 足首(あしぐび) くるぶしの上の部分。
- 脚相撲(あしづもう) 片足で倒す相撲。
- 足駄(あしだ) 歯の高いげた。
- 足の裏(あしのうら)
- 足の甲(あしのこう)
- 足拍子(あしびょうし) 足をふみ鳴らして拍子をとる。
- 足元(あしもと) 足のあたり。㊦足元に氣をつけて歩く。
- 明日(あす)
- 遊ぶ(あそぶ) ①働かない。②楽しむ。
- 仇(あだ) ①冷たい仕打ち。㊦恩をあだで返す。②かたき。㊦あだを討つ。
- 与える(あたえる) ㊦金を与える。
- 暖まる(あたたまる) ぬくくなる。
- 暖める(あたためる) 暖かくする。
- 諱名・渾名(あだな) その人の特徴によってつけた本名以外の名。
- 頭(あたま)
- アダム(Adam) 人類最初の男。
- 新しい(あたらしい)
- 当たり(あたり) 的中(ぶち)。㊦予想が当たる。
- 当たりくじ(あたりくじ)
- 当たる(あたる) ㊦予想が当たる。
- あちら あっちの方。
- 熱い(あつい) 温度が高い。㊦熱い湯。
- 暑い(あつい) 気温が高い。㊦暑い日。㊦寒い(さむい) ㊦寒い冬。涼しい(す
- 端数のない数字になること。㊦入学してきょうで満二年だ。
- ⇒手枷(てかせ) 首枷(くびかせ) ㊦病気になる家族の手かせになる。
- ⇒手癖(てくせ) ㊦手癖が悪い。
- ⇒手首(てくび) 腕の先の部分。
- ⇒腕相撲(うでずもう) 腕を倒す相撲。
- ⇒駒下駄(こまげた) 歯の低いげた。
- ⇒足の甲(あしのこう)
- ⇒足の裏(あしのうら)
- ⇒手拍子(てびょうし) 手をたたいて拍子をとる。㊦手拍子をとって喜ぶ。
- ⇒手元(てもと) 手のあたり。手近か。
- ㊦手元に現金がない。
- ⇒昨日(きのう) 今日(きょう)
- ⇒①働く(はたらく) ②学ぶ(まなぶ)
- ⇒①情け(なさけ) 人情。㊦情けは人のためならず。②味方(みかた)
- ⇒奪う(うばう) 取る(とる)
- ⇒冷える(ひえる) 冷たくなる。
- ⇒冷やす(ひやす) 冷たくなる。
- ⇒本名(ほんみょう) 正式の名。
- ⇒尻(しり) 尾(お)
- ⇒イブ(Eve) 人類最初の女。
- ⇒古い(ふるい)
- ⇒外れ(はずれ) ㊦まと外れな考え。
- ⇒空くじ(からくじ) 当たらないくじ。
- ⇒外れる(はずれる)
- ⇒こちら こっちの方。
- ⇒冷たい(つめたい) 温い(ぬるい)
- ⇒寒い(さむい) ㊦寒い冬。涼しい(す

- 厚い(あつい) ㊶厚い板。厚い紙。 ㊵薄い(うすい) ㊶薄い紙。
 厚板(あついた) 厚い板。 ㊵薄板(うすいた) 薄い板。
 悪化(あつか) 悪くなる。㊶父の病気が悪化した。戦況が悪化した。 ㊵好転(こうてん) よくなる。㊶景気は好転した。
 悪果(あつか) 行いが悪いための報い。㊵善果(ぜんか) 良い行いに対するよい報い。㊶いつか善果が現れる。
 悪貨(あつか) 質の良くない貨幣。悪い人。 ㊵良貨(りょうか) 質の良い貨幣。良い人。㊶悪貨は良貨を駆逐する。
 厚かましい(あつかましい) ずうずうしい。㊶厚かましい人だ。 ㊵しおらしい つつしみ深い。㊶しおらしいお嬢さんだ。
 厚紙(あつがみ) 厚い紙。 ㊵薄紙(うすがみ) 薄い紙。
 厚着(あつぎ) たくさん着る。㊶厚着をすると疲れる。 ㊵薄着(うすぎ) 少なく着る。㊶薄着をしてかぜをひいた。
 悪球(あつきゅう) 打ちにくい悪い球。 ㊵好球(こうきゅう) 打ちやすい球。
 暑気(あつけ) 暑い感じ。㊶暑気にやられる。暑気がする。 ㊵寒気(さむけ) 寒い感じ。㊶寒気のため体がぞくぞくする。
 厚化粧(あつげしょう) 濃い化粧。 ㊵薄化粧(うすげしょう) あっさりした化粧。㊶雪の薄化粧。
 ㊶厚化粧をほどこす。
 悪口(あっこう) 悪ぐち。 ㊵賞賛(しょうさん) ほめたたえる。
 暑さ(あつさ) ㊵寒さ(さむさ)
 あっさり さっぱりしている。淡泊。 ㊵しつこい くだい。こってり 濃厚。
 圧縮(あっしゅく) 押し縮めて小さくする。㊶予算を圧縮する。 ㊵膨張(ぼうちよう) 大きくふくれる。
 圧勝(あっしょう) 大勝利。 ㊶領土が膨張する。
 厚手(あつで) 厚味があること。 ㊵惨敗(ざんぱい) みじめな負け方。
 ㊶厚手のシャツを着る。 ㊵薄手(うすで) 薄いこと。㊶この膚着は薄手だ。
 圧倒(あつとう) 問題なくすぐれる。 ㊵伯仲(はくちゅう) 差がないこと。
 ㊶ぼくは彼に圧倒される。 ㊶二人の学力は伯仲している。
 アップ(up) 上へ。 ㊵ダウン(down) 下へ。
 アップ・ツー・デート(up-to-date) 最新流行の。 ㊵アウト・オブ・デート(out-of-date) 時代遅れの。

集まる(あつまる) ㊦人が集まる。

集める(あつめる) ㊦金を集める。

跳え(あつらえ) 注文してこしらせるもの。㊦あつらえの服。

アーティフィシャル(artificial) 人工的な。

当て字(あてじ) でたらめな字。㊦米国の米は当て字。

後(あと) うしろ。のち。

後足(あとあし) 動物のあと足。

後々(あとあと) ㊦後々が心配だ。

後書き(あとがき) 本文のあとに書く言葉。

後金(あとがね・あときん) 後払いの金。㊦後金で支払う。

後刷り(あとずり) 後からの印刷。

後払い(あとばらい) あと金。

アドミラル(admiral) 海軍大将。

後厄(あとやく) やく年の次の年。

後山(あとやま) 石炭を運ぶ人。

穴(あな) 競馬などの番くるわせ。

貴方(あなた)

彼方(あなた) あちら。㊦山のあなた。

悔る(あなどる) けいべつする。

兄(あに) ㊦兄弟子。

兄弟子(あにでし) 先に入門した弟子。

姉(あね) ㊦姉婿。

亜熱帯(あねったい) 熱帯と温帯の中間のところ。㊦亜熱帯性気候。

姉婿(あねむこ) 姉の夫。

彼の世(あのよ) 死後の世界。冥土(ぞ)。㊦あの世へ旅立つ。

⇨散る(ちる) 散らばる(ちらばる)

⇨散らす(ちらす) ㊦紙を散らす。

⇨出来合い(できあい) 初めから出来上がった品物。㊦出来合いの服。

⇨ナチュラル(natural) 自然の。㊦ナチュラルサウンド

⇨正字(せいじ) 本字(ほんじ) 本来の字。正式の字。

⇨先(さき) 前(まえ)

⇨前足(まえあし) 動物のまえ足。

⇨前々(まえまえ) 以前。㊦前々から。

⇨前書き(まえがき) ㊦前書きの長い文章はよくない。

⇨前金(まえがね・まえきん) 前払いの金。先金(さががね)

⇨初刷り(しょずり) 最初の印刷。

⇨前払い(まえばらい) 先払い(さきばら)

⇨ゼネラル(general) 陸軍大将。い)

⇨前厄(まえやく) やく年の前の年。

⇨先山(さきやま) 石炭を掘る人。

⇨本命(ほんめい) 最強と見られるもの。

⇨私(わたくし)

⇨此方(こなた) こちら。

⇨敬う(うやまう) 尊ぶ(たっとぶ)

⇨弟(おとうと) ㊦弟分。「た弟子。

⇨弟弟子(おとうとでし) 後から入門し

⇨妹(いもうと) ㊦妹分。

⇨亜寒帯(あかんたい) 寒帯と温帯の中間のところ。㊦亜寒帯の住民。

⇨妹婿(いもうとむこ) 妹の夫。

⇨此の世(このよ) いまの世。㊦この世の楽しみ。

暴く(あばく) ばくろする。

阿婆擦(あばずれ) すれっからし。

アバングル(avant-guerre ㄱㄱ)

戦前派。㊦彼はアバングルだ。

アフター(after) あとの。

アフタヌーン(afternoon) ①午後。

②婦人がふつうの外出時に着る洋服。

アフタヌーン・ドレス。

危ない(あぶない) ㊦危ない道。

アブノーマル(abnormal) 異常な。

油絵(あぶらえ) 顔料(顔料)を油でといて描いた絵。

脂性(あぶらしょう) 皮膚にあぶらの多い性質。

脂身(あぶらみ) 牛肉などのあぶらの多い部分。㊦この牛肉は脂身が多い。

アブレゲール(après-guerre ㄱㄱ)

戦後派。㊦彼はアブレゲールだ。

阿呆(あほう) ばか。愚かもの。

甘い(あまい) ㊦甘い味。甘い考え。

雨傘(あまがさ) 雨を防ぐかさ。

甘口(あまくち) 甘い味。甘い味を好む人。㊦この酒は甘口だ。

数多(あまた) たくさん。

アマチュア(amateur) 素人。ノンプロ。㊦アマチュアスポーツ。

天つ神(あまつかみ) 天上にいる神。

甘党(あまとう) 甘い味を好む人。

甘味(あまみ) 甘い味。㊦甘味がない。

アーミー(army) 陸軍。

阿弥陀(あみだ) 帽子を後方に傾けてかぶること。㊦あみだかぶり。

⇒隠す(かくす) 秘める(ひめる)

⇒おぼこ うぶな娘。

⇒アブレゲール(après-guerre ㄱㄱ)

戦後派。㊦アブレゲールの芸術。

⇒ビフォア(before) 前の。

⇒①フォアヌーン(forenoon) 午前。

②イブニング(evening) 婦人が夜会などに招かれて着る服。

⇒安全な(あんぜんな)

⇒ノーマル(normal) 正常な。

⇒水彩画(すいさいが) 水にとける絵具で描いた絵。水絵。

⇒荒れ性(あれしょう) 皮膚がかさかさな乾きやすい性質。

⇒赤身(あかみ) 牛肉や魚の赤い肉。

㊦牛肉の赤身。

⇒アバングル(avant-guerre ㄱㄱ)

戦前派。㊦アバングルの芸術。

⇒利口(りこう) 賢い。さとい。

⇒辛い(からい) 洗(し)い。

⇒日傘(ひがさ) 日光をさけるかさ。

⇒辛口(からくち) 辛い味。辛い味を好む人。㊦彼は辛口だ。

⇒少し(すこし) 僅(わず)か

⇒プロフェッショナル(professional) 玄人。プロ。職業人。

⇒国つ神(くにつかみ) 地上にいる神。

⇒辛党(からとう) 甘い味を好む人。

⇒辛味(からみ) 辛い味。

⇒ネービー(navy) 海軍。

⇒目深(まぶか) 帽子を前方に傾けて深くかぶること。

- 天(あめ) そら。てん。あの世。 ⇨ 地(つち) 地上。この世。現世。
- 綾織り(あやおり) 糸がななめに交わ ⇨ 平織り(ひらおり) ふつうの織り方。
って美しい模様を出す織り方。 ⑨ 平織りの着物。
- あやふや 不確か。⑨ あやふやな話。 ⇨ 確か(たしか) はっきり。しっかり。
- 粗い(あらひ) ① 大ざっぱな。⑨ 粗い ⇨ ① 細かい(こまかい) こまやか。⑨ 細
仕事ぶり。② ざらざら。⑨ 粗い金属。 かい技術。② 滑らか(なめらか)
- 予め(あらかじめ) 前もって。⑨ あら ⇨ 出し抜けに(だしぬけに) 突然。いき
かじめ言う。 なり。⑨ 出し抜けに言う。
- 荒げる(あらげる) 荒くする。⑨ 声を ⇨ 和らげる(やわらげる) やわらかくす
荒げる。 る。⑨ 声を和らげる。
- 荒事(あらごと) 立ち回りなど、芝居 ⇨ 和事(わごと) 恋愛場面など、芝居の
の荒々しい演技。「こと。下塗り。 なよなよした演技。 「こと。
- 荒塗り(あらぬり) 初めにざっと塗る ⇨ 上塗り(うわぬり) 仕上げのために塗
荒物(あらもの) 台所用品など、比較 ⇨ 小間物(こまもの) 化粧品など小さな
的大きな日用品。 身の回り品。
- 露(あらわ) 大っぴら。はっきりした。 ⇨ 秘(ひ)・密(ひ)・密(ひ) こと。⑨ ひ
⑨ あらわな姿。 そかな思い出。
- 現す(あらわす) ⑨ 姿を現す。 ⇨ 隠す(かくす) 消す(けす)
- 現れる(あらわれる) 出てくる。 ⇨ 隠れる(かくれる) 消える(きえる)
- アリストクラシー(aristocracy) 貴族 ⇨ デモクラシー(democracy) 民衆が支
が支配する政治。貴族主義。 配する政治。民主主義。
- ありふれた どこにでもある。 ⇨ 珍しい(めずらしい) 目新しい。
- 有る(ある) ⑨ 金がある。 ⇨ 無い(ない) ⑨ 金が無い。
- アルカリ(alkali) ⇨ 酸(さん)
- アルカリ性(alkali せい) アルカリが ⇨ 酸性(さんせい) 酸が持つ性質。⑨ 酸
持つ性質。⑨ アルカリ性の食物。 性の土。
- 歩く(あるく) ⇨ 駆ける(かける) 走る(はしる)
- アルチザン(artisan ㊦) 職人。技巧 ⇨ アルチスト(artiste ㊦) 芸術家。技
だけを大切に人。 巧も思想も大切に人。
- アルチスト(artiste ㊦) 芸術家。技巧 ⇨ アルチザン(artisan ㊦) 職人。技巧
も思想も大切に人。 だけを大切に人。
- アルファ(alpha) ギリシア語の最初 ⇨ オメガ(omega) ギリシア語の最終の

の字母(は)。最初。初歩。

彼(あれ) あのもの。

荒れ性(あれしょう) 皮膚が乾く性質。⇒脂性(あぶらしょう) 皮膚にあぶらの

多い性質。⑨脂性の顔。

淡い(あわい) 色が薄い。

⇒濃い(こい) ⑨濃い紫色。

合わす(あわす) いっしょにする。

⇒離す(はなす) ⑨目を離す。

袷(あわせ) 裏のついた着物。

⇒単衣(ひとえ) 裏のない着物。

合わせる(あわせる) ⑨目を合わせる。

⇒離す(はなす)

慌てる(あわてる) うろたえる。

⇒落ち着き払う(おちつきはらう)

安(あん) ①やすらか。②値が安い。

⇒①危(き) あぶない。②高(こう) 値が高い。③高価(こうか) 貴い物。

⑨安価(あんか) 安い物。

暗(あん) 暗い。⑨暗黒。

⇒明(めい) 明るい。⑨明暗。

安易(あんい) たやすい。

⇒至難(しなん) 非常に難しい。

安価(あんか) 値段が安い。

⇒高価(こうか) 値段が高い。

案外(あんがい) 思いのほか。⑨案外成績が良かった。

⇒案の定(あんのじょう) 思った通り。

⑨案の定、不合格になった。

暗愚(あんぐ) 道理に暗く愚か。

⇒英明(えいめい) 道理に明るく賢い。

アンクル(uncle) おじさん。

⇒アUNT(aunt) おばさん。

暗君(あんくん) 愚かな殿様。

⇒明君(めいくん) 賢い殿様。名君。

暗黒(あんこく) くらやみ。

⇒光明(こうみょう) 明るい光。

安座(あんざ) あぐらをかく。

⇒正座(せいざ) 正式に座る。

安産(あんざん) 楽なお産。⑨安産おめでとう。

⇒難産(なんざん) 苦しいお産。物事が簡単にできない。⑨難産のすえ。

暗算(あんざん) 頭の中で計算する。

⇒筆算(ひっさん) 数字を書いて計算。

珠算(しゅざん) そろばんで計算。

暗示(あんじ) それとなく示す。⑨退職するよう暗示された。

⇒明示(めいじ) はっきり示す。⑨明示通り実行する。

暗色(あんしょく) 暗い色。

⇒明色(めいしょく) 明るい色。

案じる(あんじる) 心配する。

⇒安んじる(やすんじる) 安心する。

安心(あんしん) 心配がない。

⇒心配(しんぱい) 不安(ふあん)

安全(あんぜん) 危なくない。

⇒危険(きけん) 危ない。あやうい。

安全な(あんぜんな)

⇒危ない(あぶない) 危険な(きけんな)

- アンダー(under) 下に。 ⇨ オーバー(over) 上に。
 安定(あんてい) 落ち付いている。 ⇨ 動揺(どうよう) 揺れ動く。
 アーント(aunt) おばさん。 ⇨ アンクル(uncle) おじさん。
 安堵(あんど) 安心すること。 ⇨ 懸念(けねん) 不安に思うこと。
 暗に(あんに) それとなく。⑨暗に非難する。 ⇨ 明らさまに(あからさまに) はっきりさ。⑨明らさまに非難する。
 案の定(あんのだい) 思った通り。 ⇨ 案外(あんがいがい) 存外(ぞんがいがい)
 アンバランス(unbalance) つり合いがとれない。 ⇨ バランス(balance) つり合いがとれている。⑨バランスがよい。
 暗夜(あんや) やみ夜。⑨暗夜行路。 ⇨ 月夜(げつや) つき夜。
 安楽(あんらく) 楽なこと。⑨安楽死。 ⇨ 苦痛(くつう) 痛んで苦しい。 窮屈(きゅうくつ)
 安楽な日々。安楽いす。 ⇨ ラッキー(lucky) 運。
 アンラッキー(unlucky) 不運。

い

- 衣(い) 着物。ころも。⑨衣類。 ⇨ 食(しょく) 食べ物。住(じゅう)
 意(い) 意志。強い気持。⑨意見。意識。知情意。注意。 ⇨ 情(じょう) こころ。思いやり。
 易(い) たやすい。簡単。⑨容易。 ⇨ 知(ち) ちえ。頭脳。⑨知能。
 異(い) ことなる。ちがう。⑨異種。 ⇨ 難(なん) むずかしい。⑨困難。
 緯(い) 横糸。⑨緯度。経緯。北緯。 ⇨ 同(どう) おなじ。⑨同一。合同。
 経(い) 縦糸。⑨経度。東経。 ⇨ 経(けい) 縦糸。⑨経度。東経。
 いい加減(いかげん) おろそか。 ⇨ 丹念(たんねん) 綿密。心こめて。
 異域(いいき) よその国。外国。異郷。 ⇨ 故郷(こきょう) 郷国(きょうこく)
 いい気味(いいきみ) 他人の不幸を喜ぶ気持ち。 ⇨ 気の毒(きのどく) 他人の不幸をあわれむ気持ち。
 言い値(いいね) 売り手がいう値。 ⇨ 付け値(つけね) 買い手がつけた値。
 家路(いえじ) 家に帰る道。⑨家路を急ぐ。家路につく。 ⇨ 旅路(たびじ) 旅の道。⑨旅路の途中。旅路に倒れる。
 家鳩(いえばと) 家で飼うハト。 ⇨ 野鳩(のばと) 野生のハト。
 以下(いか) それより下。⑨以下五人。 ⇨ 以上(いじょう) それより上。
 以外(いがい) それよりほか。 ⇨ 以内(いない) それよりうち。